

2021 人権学校



コロナ禍に入って初めての人権講座です。まだまだ予断を許さない状況は続いているようですが、企画以降ようやく2年目にして実現する人権学校のメインテーマは「デジタル社会の光と影」です。

今、「ケータイ」や「スマホ」に代表されるデジタル通信機器の急速な革新と普及で私たちのライフスタイルは大きく変化し、生活の利便性は高まってきている反面、個人情報の漏えいや暴露、誰とでもつながるSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)上での誹謗中傷などの人権侵害が大きな社会問題となっています。

今後、「デジタル社会」はどのように進展するのか、私たちは何に気をつけ、どのように関わっていけば良いのか。3回シリーズの講座で、まさに「デジタル社会の光と影」の理解を深めながら、みなさんと学び合いたいと思います。

★メインテーマ 『デジタル社会の光と影』

～ポスト・コロナ禍の時代にスマート/SNSの社会にどう向かい合うか～

講師 岡田 朋之さん (関西大学総合情報学部教授)



【プロフィール】

1965年大阪府高槻市生まれ。1994年に大阪大学大学院人間科学研究科博士課程を単位取得退学後、関西大学総合情報学部助手となる。その後、助教などを経て現職。専門はメディア論と文化社会学。メディアの革新にともなう日常生活の変容を研究テーマに据え、90年代半ばから携帯電話の普及過程に関する研究に携わる。近年はネット時代における国際博覧会(万博)の意義について研究

〈主な著書(共著)〉

・『ポスト・モバイル社会』(共著 世界思想社 2016年)、『ケータイ社会論』(共編著 有斐閣 2012年)、『私の愛した地球博』(共編 リベルタ出版 2006年)ほか

★日時 & 各回のテーマ

① 11月11日(木) 13:30~15:30

テーマ:『モバイルメディアから見た
デジタル社会のこれまでとこれから』

※モバイル:小型で持ち運びが可能、持ち運び中に使用可能な電子機器のこと

私たちを取り巻くデジタル社会の現状を、もっとも身近なメディアである携帯電話やスマートフォンなどの、モバイルメディアから見つめ直します。モバイル化を通じたデジタル化がどのように進み、また今後どうなっていくのかを概観していきます。

② 11月18日(木) 13:30~15:30

テーマ:『デジタル・データ化される私たち』

LINEなどのSNSを使ったり、写真を撮って共有したり、キャッシュレス決済を使ったり、等々、日頃から私たちはさまざまな情報をモバイルメディアを通じてやりとりしています。そこから浮かび上がってくる私たちの姿、そしてそこに潜むリスクについて考察します。

③ 11月25日(木) 13:30~15:30

テーマ:『グローバル化の中のデジタル生活』

※グローバル化:社会的・経済的に国や地域を超えて世界規模でその結びつきが深まること

携帯電話のネットワークは全世界を覆い尽くし、それまで固定電話はおろか、電気やガスなども通じていなかった地域でも、デジタル化の影響はおよんでいます。そうしたデジタルのグローバル化が進む一方で、それに遅れをとりつつある日本の現状と課題を見つめ直します。

★場所 川西市総合センター・1階・視聴覚室 <所在地 川西市日高町7-1>

★主催 川西市人権啓発サポーター会・川西市人権推進課 ★協賛 伊丹人権擁護委員協議会川西部会

■申込み先及び問合せ先 人権推進課 ☎740-1150 FAX 740-1151

・名前、電話番号、住所(勤務地含む)を記入し、メール(kawa0014@city.kawanishi.lg.jp)、FAX、電話のいずれかで 11月5日(金)までに

※定員35人 受講無料 定員超過の場合は抽選 ※手話通訳 要予約 11月4日(木)までに